

第1回定例研究会

「魂の美学」

私たちは景観や芸術作品の美しさを感じ取ることができる。こうした美的経験を享受することができるのは、私たちが心をもつ意識主体であるからだ。だが、心をもつことそれ自体に一つまり、魂を備えた存在者であることに一美的な価値はないのだろうか。私たちの魂は、世界の美しさを映しとるだけの量産型の鏡のように、それ自体には価値のないものなのか。それとも、そこには何か比類なき美的価値があるのか。この講演では、現代の心の哲学の視座から、「畏敬」と「崇高」という美学上の概念を手がかりに、こうした問いについて論じる。

◆講師：新川拓哉（神戸大学大学院人文学研究科 講師）

1986年生。2015年北海道大学大学院文学研究科思想文化学専攻博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員PD(千葉大学)、日本学術振興会海外特別研究員（バリ高等師範学校）を経て、2020年より現職。

◆日時：2021年11月13日（土）14:00～16:00（zoomへの入室13:45～）

◆コーディネーター：森田雅子（武庫川女子大学 生活美学研究所 所長）、松山聖央（同助手）
（作品図版キャプション）ルネ・デカルト像（ヴェルサイユ宮殿）

【オンライン開催・事前予約制】

専用フォーム（リンク：<https://zoom.us/meeting/register/tjYld-qqpz0jHNNJlaCGvMYRGfuLAQPj-AdJ>）からお申し込みください。

【聴講方法】

◆本研究会はオンライン会議システムZoomを用いて開催します。

◆上記リンクより専用の申込フォームにアクセスし、必要事項を入力・送信してください。自動返信メールにて、当日参加用URLのURLが案内されます。

※zoomの設定上、自動返信メールは敬称略となりますことをご了承ください。

お問い合わせ先

武庫川女子大学生生活美学研究所

T E L:0798-67-1291（受付時間：祝日を除く月～金 10:00-16:00）

MAIL:seibiken@mukogawa-u.ac.jp